総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

2．分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　③アジア拠点化・国際物流分野（5/5）

	評価区分（※）	評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 総合評価	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区（長崎県等）	正	3.3	3.2 ・進捗度 県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 105% ・県内造船所によるバラスト水処理装置の取扱件数 29% ・県内造船所等が建造に携わったあるいは県内に設置された海洋再生エネルギー利用発電施設の総設備容量（※） （※）は定性的評価	3.4 規制の特例等 ・本工場と飛び地工場間の公道輸送に係る特例措置 財政支援等 ・支援利子補給金　1件 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・固定資産税の課税免除 等	3.3	・評価指標（1）については2年連続実績値が目標値を上回っている点は評価できる。一方、評価指標（2）については2年連続実績値が目標値を下回っている点は遺憾である。 ・評価指標（3）に関して、3海域すべてが実証フィールドとして選定されるとともに、様々な取組が進めてられている。今後の実績に期待したい。 ・数多く実施されている地域独自の取組に関しては、結果につなげていくためにも、しっかりとした調整も望まれる。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書はこちら　◆評価結果はこちら